

政務レポート

りれししょん

2014年10月20日
鳥取県議会議員
砂場隆浩
鳥取市片原1-107

「Relation」とは1605年、ストラスブールでヨハン・カロルスが世界で初めて創刊した新聞です。直訳すれば「関係」。このレポートで県民の皆様と良い関係を築ければと願っています。

介護・子育て・シングルマザー支えよう 女性が輝ける鳥取へ 一般質問で登壇 知事と論戦

9月定例会県議会は一般会計補正予算案など19議案を可決して10月14日閉会しました。会派希望（のぞみ）は今回も全議員が「地方再生への提言」人口減少社会からの脱却」を共通テーマに知事に論戦を挑み、私は「鳥取の再生は女性が輝ける地域にすることが重要。介護、子育て、シングルマザーの支援充実を」と訴えました。

介護で退職 再雇用制度導入を

政府は女性登用を経済成長戦略の柱に据えました。が、女性が輝く地域にすることは地域に活力を取り戻すことになると考え、今回のテーマとしました。

「県立学校の女性教員の皆さんは、上司が薦めても管理職を受けない」と教育長が6月議会で答弁されましたので、県教組や高教組、現場の先生たちにお聞きすると「介護のために定時に帰宅して迷惑をかけているのに、残業が前提の管理職に就いて、さら迷惑をかけてくれない」と答えが帰って

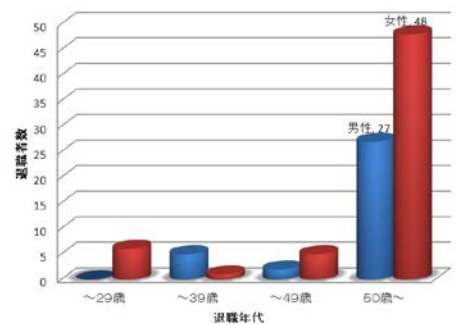
きました。

平成25年度の年代別早期退職者数を調べてみると、右下のグラフのように50代の女性の退職が突出しており、聞き取り調査の結果を裏付けていました。

介護する教職員や県職員の支援制度は半年の介護休暇くらいしかありません。



教職員の年代別早期退職者数(H25年)



長に提案しましたが、「公務員採用の平等の原則があるので、休暇制度も含め、研究したい」との答弁に留まりましたので、民間企業で同制度導入する企業への支援と合わせ、再度、導入を求めました。

県立中央病院が導入した24時間対応の院内保育は病児病後保育も充実させ、看護師の皆様が評価されていることも紹介。介護に加え、子育て支援も重要と、シングルマザーの支援と共に充実を求めました。

女性の活躍 本音が 見えるトイレ

「女性トイレを見れば、企業や自治体の女性処遇の本音が分かる」という意見を就活中の大学生から聞き、北九州市のOTTO本社を訪れました。女子トイレは用を足すだけの場所ではなく、衣服や髪を整え、メイクを直すなど多目的で使われることから、乾いた荷物置き、セパレートされた鏡、消音装置などの配慮

が必要と学びました。そこで、「女性に優しいトイレに順次改修して鳥取県の姿勢を示そう」と提案しました。平井知事には「問題意識として持つておくべき事柄。女性の社会参画が広がる中では職場環境の重要な要素として考える必要がある。おもてなしの心という意味で公共施設も同様と思う」と賛同頂きました。